

外来診療一覧

平成25年8月1日現在					
診療科名	月	火	水	木	金
一般内科	満崎 健志	津留 智子	渡辺 恵	井手元 晶子	大野 美紀
呼吸器科(午後)					松本 久美
消化器内科	杉山 元 大野 美紀	坂田 雅浩	杉山 元 原田 和徳 (午後のみで、予約制)	佐野 有哉	坂田 雅浩 大野 美紀
循環器内科	池田 久雄 加藤 宏司 (生活習慣病) *要予約	池田 久雄 新山 寛 津留 智子	池田 久雄 加藤 宏司 渡辺 恵	加藤 宏司 原田 晴仁 津留 智子	原田 晴仁 新山 寛 渡辺 恵
禁煙外来	池田 久雄 (午後)	池田 久雄 (午後)	池田 久雄 (午後)		
内分泌代謝内科	満崎 健志	満崎 健志	満崎 健志	満崎 健志	満崎 健志
精神科	山田 英孝	山田 英孝 (午前・午後)			山田 英孝
(もの忘れ外来) (予約制)				山田 英孝 (午前・午後)	
小児科	伊藤 雄平 佐々木 孝子 田中 聰子	牛島 高介 佐々木 孝子	伊藤 雄平 田中 征治 佐々木 孝子	牛島 高介 佐々木 孝子 田中 聰子	伊藤 雄平 牛島 高介 佐々木 孝子
(専門外来)	腎臓	腎臓 内 分 泌	腎臓	消化器・肝 脾	腎臓 小児成人病
外科	緒方 裕 亀井 英樹 (午前)	内田 信治 (肝胆脾)	石橋 生哉	緒方 裕 藤田 博正	内田 信治 石橋 生哉
		田中 克明	中山 刚一	亀井 英樹 藤田 博正	三原 勇太郎
(乳腺外来)			矢原 敏郎		
(病理外来)		山口 優			
整形外科・関節外科センター	樋口 富士男 瓜生 拓也 (午前)	大川 孝浩 吉川 英一郎 光井 康博	樋口 富士男 後藤 昌史 光井 康博	大川 孝浩 吉川 英一郎 鈴木 康一 (予約のみ)	樋口 富士男 吉川 英一郎 瓜生 拓也
(午後・予約紹介のみ)		後藤 昌史 (14:00~16:00で専門外来のみ) 光井 康博		大川 孝浩 後藤 昌史 (14:00~16:00で専門外来のみ) 碑田 寛 (第2)	
リウマチ・膠原病センター	福田 孝昭 弓削 健太郎	福田 孝昭 岩永 希	竹尾 正彰 鮎川 龍祐	福田 孝昭 馬場 敦子	福田 孝昭 竹尾 正彰
リハビリテーション科	名護 健	荻野 美佐	柳 東次郎		名護 健
		志波 直人 (午後のみで、予約制)	田中 順子 (第1、3、5)		
泌尿器科	林 篤正	黒川 憲一郎	野口 正典 黒川 憲一郎	林 篤正	林 篤正
皮膚科	名嘉眞 武国 荒川 正崇	名嘉眞 武国 荒川 正崇	名嘉眞 武国 荒川 正崇	荒川 正崇	名嘉眞 武国 荒川 正崇
婦人科	和田 紘子	竹本 由美			野々下 晃子
眼科	渡邊 志穂	渡邊 志穂	渡邊 志穂	渡邊 志穂	
	野田 理恵 (午前のみ)	野田 理恵 (午前のみ)	斜弱外來 午前・午後 野田 理恵 (午前のみ)	斜弱外來 午後のみ 野田 理恵 (午前のみ)	
放射線科	内田 政史 (画像診断)				
がんワクチン	笠田 哲朗	伊東 恭悟 野口 正典	由谷 茂 (午前・午後)	由谷 茂 野口 正典	伊東 恭悟 由谷 茂 (肝炎ワクチン)
先進漢方治療(午前のみ)	恵紙 英昭	藤本 剛史	恵紙 英昭	八木 実	恵紙 英昭
麻酔科	中川 景子		中川 景子		中川 景子

受付時間：午前8時30分～午前11時迄

診療日：月～金

休診日：土・日・祭日・年末・年始（12/29～1/3）・盆休（8/15）

編集後記

今年は平年に比べ梅雨明けが10日以上も早く、明けた途端30度を超える真夏日の連続です。この暑さで食欲が低下しがちですが、暑い夏こそしっかり食べて、乗り切りたいものです。冷やし中華、冷そば、おろしうどん、枝豆ご飯、うざく、焼きナス、メロン、西瓜…。医療センターの給食でもさっぱりと涼しげな夏メニューを準備しています。

(M. A)

Kurume University Medical Center
久留米大学医療センター

2013.08
No.025



7月11日(木)がんワクチンセンターの開所式が行われました。

私たちの理念

心が通い、信頼される医療

私たちのめざす医療

- 皆さまの権利とプライバシーを尊重します。
- 充分な説明と同意のもとに、最新で安全な医療を行います。
- 地域に開かれた病院として、健康と福祉の向上に努めます。
- 確かな医療技術と豊かな人間性を備えた医療人を育てます。

Contents

- がんワクチンセンター開所に伴ってのごあいさつ
- 診療科紹介（整形外科・関節外科センター）
- 診療科紹介（内分泌代謝内科）
- 新任医師のご紹介
- ボランティアのご紹介
- 眼科を受診する患者さんへ

〈久留米大学医療センターホームページ〉

<http://iryo.kurume-u.ac.jp/>

がんワクチンセンター開所に伴ってのごあいさつ

前回この紙面で「がんワクチン外来開設」と題して投稿させて頂いて3年が経ちました。この間、消化器がんの患者様を中心にペプチドワクチンを投与させていただき、お陰さまで研究成果も少しずつですが、挙がっております。

来る7月11日に「がんワクチンセンター」が大学の付属研究施設として、当院リハビリテーションセンター2階に開設されました。これに伴い、施設内に「がんワクチン外来」は移設され、同じフロアに研究部門も入ります。外来と研究部門が一か所に集約することで、効率よく研究が行えるようになることが期待されます。より一層の研究成果を挙げ、久留米から世界のがん患者様に向けて新薬を届けられますよう益々の努力を重ねて行く所存でございます。

この機会に、がんの新たな治療法となりつつある免疫療法の一つである「がんワクチン療法」について以下に簡単な解説をさせて頂こうと思います。

<がん細胞と免疫について>

「免疫」とは自己（自分自身の細胞）と非自己（異物）を識別して、非自己を排除するシステムの事を言います。いきなり取っつきにくい話で申し訳ありません。例えば、細菌やウイルスは身体の外から侵入してきた異物（非自己）であり、これらに対して作用機序は若干異なるものの、我々の身体に備わっている免疫システムが反応し、複数の免疫細胞が活性化されこれらを排除します。

では、がん細胞はどうでしょうか？がん細胞はウイルスや細菌と違って、元々は自分の細胞ですが、無秩序に増殖をするようになった言葉がギャングみたいな細胞です。このがん細胞に働いて排除させようと頑張っている免疫細胞はNK（ナチュラルキラー）細胞やキラーT細胞などです。我々のワクチン療法ではこれらの内、キラーT細胞を活性化し、がん細胞を排除しようという試みです。がん細胞の細胞表面にある「がんである目印（ペプチド）」をがん患者さんに皮下注射して患者さんの免疫を活性化させます。ペプチドを認識したキラーT細胞が誘導されると、がん細胞を攻撃するようになります。

<がんワクチン療法のメリット>

元々どのがん患者さんの体の中にもこのキラーT細胞を始めとするがんに立ち向かう免疫力はあるはずなのですが、がんが見つかった時点では、がん細胞の数に対して免疫細胞の数が少ないのでがん細胞の増殖を許してしまっています。免疫療法の目的は、少しでもがん細胞と闘う細胞を増やしてがんの勢いを止めることにあります。抗がん剤治療は例えて言うなら爆弾を落とす爆撃です。放射線療法はピンポイントにがんを叩くのでミサイル攻撃といったところでしょうか。がんワクチン療法のメリットはこれらと全く機序が違うので既存の治療との併用が可能な事です。



センター長
伊東 恭悟 医師



副センター長
由谷 茂 医師

次に、副作用が抗がん剤や放射線療法と比べて軽微である事です。我々の今まで1000症例以上の投与経験がありますが、免疫反応が極めて強い患者さんは稀に強い有害事象（皮膚潰瘍や腸炎、喘息反応など）が出た事例もあります。しかし、頻度は100人に1人以下です。大抵の方々は投与した部位の皮膚反応が主なもので、一般的に皮膚反応が強く出る方の方が免疫反応が強い傾向にあります。

<今後の展開>

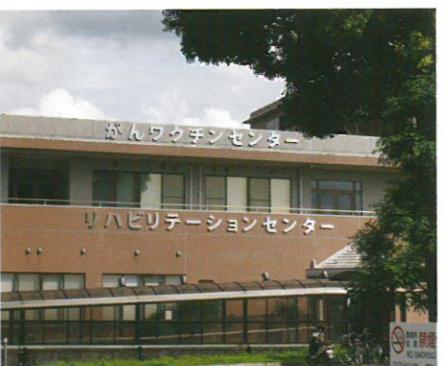
現在久留米大学では前立腺がん、肺がん、脳腫瘍、消化器がん、婦人科がん（子宮がん）、乳がんを中心に、また血液腫瘍や肉腫などに対してもペプチドワクチン療法の臨床試験を行っています。それらの内、前立腺がんと脳腫瘍の一部では、実際にお薬にするための研究が進んでいます。

今後も皆さまのお役にたてる新規がん治療法の開発に鋭意努力を積んでまいりたいと存じます。
以下にがんワクチン外来の外来日をお知らせします。

<外来日とがん種>

月	火	水	木	金
消化器がん	前立腺がん	消化器がん	前立腺がん	消化器がん
	肺がん		消化器がん	肺がん
	その他のがん			その他のがん

※ 現在 乳がん、婦人科がん、脳腫瘍は久留米大学病院にて行っています。



診療科紹介（整形外科・関節外科センター）

当整形外科では、関節疾患に対する診断と治療を中心に診療いたしております。特に「股関節」「膝関節」「肩関節」疾患や「リウマチ」に対する外科的治療を多く行い、手術はおよそ年間600手術です。

本科の特徴は、人工股関節置換術では低侵襲な手術、特に切開が小さく出血が少ないということです。人工膝関節置換術ではより正確な手術を心がけています。両手術とも出血に対しては貯血式や回収式自己血輸血を行い、他人血の輸血はほとんどありません。肩関節手術は、関節鏡を用いた低侵襲手術を多用しています。

最近は有痛性人工関節の診断と治療を始めました。X線で人工関節に問題はないが痛みのある病態の診断と治療です。

◎週刊朝日MOOK『手術数でわかるいい病院2013』全国&都道府県別ランキング

当院整形外科・関節外科センターが人工関節置換術・股関節全国ランキング10位として掲載されました。

◎過去5年間の項目別手術件数

	人工股関節置換術	人工膝関節置換術	肩の手術	その他	計
2008年	179	96	102	225	602
2009年	261	104	87	184	636
2010年	277	93	94	142	606
2011年	265	94	97	146	602
2012年	240	113	104	153	610

診療科紹介（内分泌代謝内科）

6月から大学病院より配属になりました内分泌代謝内科満崎 健志です。厚生労働省の「2011年国民健康・栄養調査報告」では、糖尿病が強く疑われる人や可能性を否定できない「予備群」が合わせて27.1%と推計され、国民の4人に1人以上が糖尿病かその予備群であるとゆう結果でした。また、その予備軍4割は未治療であり、30歳代では約6割に達することがわかりました。当センターでも地域連携を通じて久留米・筑後地域での糖尿病発症・合併症予防に少しでも貢献できればと微力ながら尽力してまいります。

新任医師のご紹介

平成25年6月より各診療科にて、5名の医師が新しく赴任しましたのでお知らせいたします。何卒よろしくお願い申し上げます。



氏名：井手元 晶子
(イエモト アキコ)
診療科：リウマチ・膠原病センター



氏名：満崎 健志
(ミツザキ ケンシ)
診療科：内分泌代謝内科



氏名：高瀬谷 ひかり
(タカセヤ ヒカリ)
診療科：麻酔科



氏名：岩永 希
(イワナガ ハジメ)
診療科：リウマチ・膠原病センター



氏名：財津 亜友子
(ザイヅ アユコ)
診療科：小児科

ボランティアのご紹介

久留米大学医療センターでは、現在3名のボランティアの方が活躍されています。「田川正浩さん」「宮原照男さん」「渡邊和子さん（元看護部長）」です。また、医療センターの玄関に美しい花を提供してくださっている「飯田巧さん」がいらっしゃいます。

田川さん・渡邊さんのお二人には、主にエントランスホールで患者さんのお迎え、案内、車いすの患者さんの介助・荷物搬入などの仕事をしていただいております。

受診される方や特に初めての方の中には、不安を感じいらっしゃるかもしれませんので、このような活動は患者さんの支えになっているのではないかと思います。

宮原さんは医療センター玄関の庭園の手入れをしていただいている。宮原さんは石橋文化センターのバラの手入れなどを担当しておられる方なので、その完成度は大変評判がよく、外来患者さんや入院患者さんだけでなく当院に訪れる多くの方に「すごく花がきれいでビックリした」「心が癒されます」というご意見をいただいております。

私たち職員一同とても感謝しております。ボランティアの皆様、誠にありがとうございます。

ボランティア活動に関するお問い合わせ先 医療センター管理課（直通）0942-22-6534



左：田川さん 中央：渡邊さん 右：宮原さん



花の提供をくださっている飯田さん



眼科を受診する患者さんへ

9月2日（月）より、眼科診療体制を下記のとおり変更となりますのでお知らせします。

一般

月・木（午前（完全予約制））

斜視・弱視

水（午前・午後（完全予約制））

病院長